煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集＊渡部
TEL 046-223-0110

特殊詐欺の被害防止

～被害に遭わないために～

○　迷惑電話防止機能付き電話機等への変更

振り込め詐欺を防ぐのに最も効果的なのは、犯人からの電話に出ないことです。

犯人が電話をしてくれれば、呼出音を鳴らす前に、犯人に対し、「この通話内容を録音します。」旨を告げるなど、犯人が最も嫌う機能を有しています。

迷惑電話防止機能付き電話機への変更を御検討ください。

○　キャッシュカードは絶対に渡さない

○　暗証番号は絶対に教えない

○　『サギ撲滅の２本柱』

①　こんな言葉を電話で聞いたらサギだ！

「急にお金が必要！用意して！」

「キャッシュカードを預かります。」

「ＡＴＭで医療費を還付します。」

②　留守番電話設定のお願い！

「犯人は留守番電話を嫌います。」

「常に留守番電話設定を！」

「留守番電話が作動する前に取らないで！」

「迷惑電話防止機能付き機器の購入検討を！」

県民を脅かす生活経済事犯対策の推進

～「コピー商品」「海賊版商品」を追放しよう！～

「生活経済事犯」とは、人間の幅広い知的創造活動の成果を保護する「知的財産侵害事犯」、高齢者等の社会的弱者に多大な被害をもたらす「悪質商法事犯」、過酷な取立てにより平穏な日常生活を破壊する「ヤミ金融事犯」、家庭の食卓を脅かす「食の安全に係る事犯」、人々の健康に関わる「保健衛生事犯」、後の世代に引き継ぐべき生活環境を破壊する「環境事犯」等、県民の日常生活の安全と安心に大きな脅威を与える事犯のことを言います。

県警察では、生活安全部内に「生活経済課」という専門的な部署を設けて、生活経済事犯に関する取締りを推進しています。

※　コピー商品や海賊版商品を買うこと、貰うこと、使うことは、犯罪を助長する行為です。また、コピー商品や海賊版商品を作ること、売ること、売るために持っていること、海外から輸入することは、犯罪です。絶対にやめましょう！！

事　件　記　録　板

３月中旬から４月中旬までの事件は、

・　交通事故の発生があったものの侵入盗等の事件の発生はありませんでした。

※　先月号で自動車盗のリレーアタックの手口を紹介しましたが、更に進んでコードグラバーという新たな手法もあるようです。駐車場に事前に受信機を待ち受け状態で置き、ドアの鍵を開け閉めの際に発射される ID コードをコピーするようです。
駐車場の周りに器械機器等、不審な物がないかを注意し、ハンドルロックやタイヤロック装置で防げると思います。こうした手口を踏まえ、被害に遭わないようご注意ください。

※　今月号に特殊詐欺の被害に遭わないための対策を載せました。被害防止のため、切り抜いて、電話機前に貼付してください。

駐在所の独り言　～鏡の法則って？！～

新年度に入り、入学や就職、異動等、新しい環境になり、まもなく１か月が経ちます。仕事先、学校でも同僚、友人、グループが出来たり、また仕事の内容が変わったり、多くの変化がある時期で学校生活や仕事も充実し、やる気も漲る人がいる一方、行き詰まり悩んでいる方も多いと聞きます。こうした周りの環境、人とのコミュニケーションや仕事の進め方に悩む方に、是非お勧めしたい本を紹介します。この本は、徳間書店発行で、著者は田中和彦氏で、リクルート社に勤務の後、出版編集長等数々の経験を経て、現在人材コンサルタントという人材育成のプロと呼ばれる人になります。本のタイトルは、「断らない人は何故か上手くいく」です。更にサブタイトルとして「頑張っているのに周りから認められないのは何故？それは嫌な仕事を断るからです」とあります。このタイトルを映画にしたようなイエスマンという映画もありました。イエスと言い続ける事で嫌々ながらも、意に反してチャレンジ、挑戦するのですが、それがために事件や災難に遭いながらも、人生を劇的に変えてしまうという感動の映画でした。さて、嫌な仕事を断る理由ですが、多くは自信がない、出来そうにない、向いていないと言うものですが、自分の事は、何かにつけて自分より他人の方がよく分かると言われています。例えば医者の不用心という言葉があります。医者であっても、こと自分の事になると無頓着で分からないと言うことです。また、家族から足を引きずっていたと注意されて、脳梗塞が判明したり、目つきがおかしいから熱でもあるのでは、と注意されて、重大な病気を発見するなんてよくあることです。ですから上司から勧められた仕事が意外と向いている可能性もあるんです。ちょっとこの例えは分かりづらかったかも。いずれにせよ自分の事は自分では分からないということです。また周りに勧められる困難とされる仕事は元々基礎点が高い仕事ですから、失敗しても挑戦する意味があるのです。逆に自信があっても、やってみないと分からないものです。つまり、簡単と高を括っていても、やった事がなければ最初から結果が出るとは限らないものです。嫌な仕事を断り、自信のある安易に安易な仕事を選び、失敗すれば低い評価にされ、更に劣等感を味わうことになりかねません。成功には繰り返し続ける場数が必要なんです。例えば弁当屋さんの御飯の量ですが、慣れると１グラム以下の違いが分ったり、調味料や味付けも勘であっても実に正確です。まさに場数と経験が成す技です。挑戦して失敗してもいいんです。挑戦し努力する姿勢と心構えが周りからも期待され、人としての魅力と輝きがあるということです。逆に周りの評価や結果ばかり気にして、直ぐに行動出来ず、出来ないと断言したり、出来ない理由を探したり、環境や他人のせいにしたりする人には、何も期待されることなく、何も生みません。自分の人生に起こる問題の原因は、自分自身の心の中にあります。自分が変われば、周りも変わるという「鏡の法則」を意識して、自分の悩みを解消し、自己充実と遣り甲斐を見つけてください。